

事務局体制の確認

選択 **事務局体制の確認**

- グループ内に専任の担当者がいない
- グループ内に専任の担当者を配置している

選択 **事務局の業務委託の確認**

- グリーン化事業に係る業務は事務局内で行っている
- 外部の業者に部分的に業務委託をしている
- 外部の業者に全ての業務を委託している

業者名

- 事務局の同一担当者が複数のグループを担当している

選択 **グループのサポート体制**

- 基本的に施工事業者が全て行い、交付申請等補助申請のみ対応
- 設計申請等のサポートが出来る体制になっている
- 施工に関するサポートが出来る体制になっている
- 維持管理に関するサポートが出来る体制になっている
- 地域型住宅の営業提案に関するサポートが出来る体制になっている
- その他、グループ特有のサポート体制がある

内容

選択 **グループ内の情報共有の方法**

- グループ内で事業説明会を実施する
- SNS等の情報共有ツールを使った情報公開・共有
- メール・メーリングリストを使った情報発信
- ホームページ等Webを使った情報共有・発信（会員専用ページなど）
- TEL・FAXを使った情報共有・発信
- その他

内容

選択 **所属工務店の廃業等があった際の対応**

- 指定ルールに基づいて積立を行っており廃業があった際の検査費用として活用し維持管
- グループ事務局で維持管理を引き継ぐ工務店を紹介
- グループ事務局にて維持管理を代行
- グループ事務局が住まい手と相談し住まい手の意向に合わせる
- 第三者機関に維持管理業務を任せるため問題なし
- グループ事務局として対応しない
- その他

内容 建築業界に精通した弁護士と顧問契約を結んでおり、柔軟に協議・相談が出来る体制をとつ

地域型住宅の仕様、品質に関する取組みについて

選択 **主要構造部における地域材の推奨割合**

- 50%未満
- 50%以上
- 80%以上

選択 **グループの住宅性能の向上や第三者による評価に関する取組**

- 設計性能評価書を取得している
- 建設性能評価書を取得している
- 耐震等級3を取得している
- ゼロ・エネルギー住宅でも長期優良住宅の認定を取得している
- ZEHに取り組んでいる
- BELSに取り組んでいる
- 低炭素住宅の認定を取得している
- その他

内容 っておらず、事務局が断熱・耐震・法規等に関する勉強会を開催し、第三者評価の重要性と扱

選択	地域型住宅の生産体制に関する取組み
<input type="checkbox"/>	地域型住宅で使用する用材の寸法規格化
<input type="checkbox"/>	地域型住宅の施工に関する統一基準がある。(一部箇所も含む)
<input type="checkbox"/>	地域型住宅の信頼性確保に向けた検査ルールがある
<input type="checkbox"/>	地域型住宅の積算・見積もりに関する統一したルールがある
<input checked="" type="checkbox"/>	使用する地域材の在庫把握の仕組み
<input type="checkbox"/>	指定(推奨)の建材・住宅設備機器等の活用による在庫情報の共有
<input type="checkbox"/>	地域型住宅としてのグループ独自の証明証の発行
<input type="checkbox"/>	完成保証・地盤補償等の各種保険の添付(瑕疵担保責任保険は除く)
<input checked="" type="checkbox"/>	その他
内容	ことを大前提として、施工事業者への情報発信・勉強会と同時進行で、用材標準化・施工標

地域型住宅の維持管理に関する取組みについて

選択	住宅履歴情報の管理・活用について
<input type="checkbox"/>	住宅履歴情報は施主が保管管理を行う
<input type="checkbox"/>	住宅履歴情報は施工工務店で保管管理を行う(施工工務店任せ)
<input type="checkbox"/>	住宅履歴情報はグループ事務局で一括して保管管理を行う
<input type="checkbox"/>	グループで指定する住宅履歴情報サービス機関で保管管理する
<input checked="" type="checkbox"/>	その他
内容	宅履歴情報サービス機関を有しつつ、昨今のPCのデータ管理能力の向上を鑑み施工事業者で

選択	維持管理の実施に関する取組みについて
<input type="checkbox"/>	グループ共通の維持管理計画書に従って維持管理・点検を行う
<input checked="" type="checkbox"/>	各社個別の維持管理計画書に従って維持管理・点検を行う
<input type="checkbox"/>	グループとして外部の機関と提携(契約)して維持管理を実施
<input type="checkbox"/>	維持管理の実施に関しては施工工務店任せ
<input type="checkbox"/>	その他
内容	

選択	グループ事務局での維持管理の対応について
<input type="checkbox"/>	グループ事務局が施工業者に連絡して維持管理・点検を行う
<input type="checkbox"/>	維持管理の実施に対してグループ事務局にて報告を受け管理する
<input checked="" type="checkbox"/>	維持管理の実施に関してグループ事務局では関与しない

グループで実施する研修、サポート体制に関する取組みについて

選択	グループで実施、または構成員が参加する研修会・講習会について
<input type="checkbox"/>	補助交付申請、実績報告等の補助事業に関連する説明会
<input type="checkbox"/>	地域型住宅の認定・評価書取得等の設計技術・知識に関する研修会
<input checked="" type="checkbox"/>	地域型住宅に関連した施工技術・知識に関する研修会
<input type="checkbox"/>	地域型住宅の維持管理に関連した研修会
<input type="checkbox"/>	住宅性の評価・表示協会が開催する講習会への参加
<input type="checkbox"/>	住宅金融支援機構が開催する仕様書説明会への参加
<input checked="" type="checkbox"/>	改正省エネルギーに関連した研修会
<input type="checkbox"/>	顧客提案等の営業手法等に関する研修会
<input type="checkbox"/>	工務店経営に関連した研修会(人材育成・働き方改革・民法改正等)
<input type="checkbox"/>	CCUS(建設キャリアアップシステム)に関連した研修会
<input type="checkbox"/>	事業者向け現場見学会
<input checked="" type="checkbox"/>	その他
内容	それぞれ連携している専門家集団があり、事務局が勉強会を企画開催し、施工事業者への

選択	グループ(事務局)の未経験工務店の割合
<input type="checkbox"/>	未経験工務店は所属していない
<input type="checkbox"/>	未経験工務店の所属が1/3未満
<input checked="" type="checkbox"/>	未経験工務店が1/3以上
<input type="checkbox"/>	未経験工務店がどれだけ所属しているかわからない

選択	グループの未経験工務店に対するサポート体制
<input checked="" type="checkbox"/>	未経験工務店への優先サポートの実施
<input type="checkbox"/>	地域型住宅の補助活用マニュアル（手順書）の用意
<input checked="" type="checkbox"/>	各種認定取得サービスの活用提案
<input type="checkbox"/>	施工管理・施工検査のサポート
<input type="checkbox"/>	営業支援（提案書作成・営業同行）
<input checked="" type="checkbox"/>	事務局による交付申請書類作成支援
<input checked="" type="checkbox"/>	事務局による実績報告書類作成支援
<input type="checkbox"/>	特にサポートは行っていない
<input checked="" type="checkbox"/>	その他
内容	に関する審査機関との橋渡しや、様々な悩み・相談に対し面談や電話等で常に対応出来るよう

地域型住宅の地域社会との連携や継承についての確認

選択	地域型住宅として地域社会との連携・継承等について
<input checked="" type="checkbox"/>	地域の伝統的なデザインの継承を意識している
<input type="checkbox"/>	地域の街並みの継承を意識して対応する
<input type="checkbox"/>	地域の住まい方の継承を意識して対応する
<input type="checkbox"/>	地域型住宅に和の住まいの要素を取り入れた対応を行う

災害時等への対応についての確認

選択	災害発生時・発生後の対応について
<input type="checkbox"/>	特に取り決めしていることは無い
<input checked="" type="checkbox"/>	取組みを行っている
	被害軽減と小さなエネルギーでの自立に繋がるよう努めている。事務局がグループの各事業者

※ 災害発生時の国土交通省よりの情報提供の受け取りについて

- 情報提供を受る

受付番号

499

グループ名称

東濃松住宅供給協議会

グループの取組み等PRポイントについて

岐阜の山と人が育んだ優良材の証「ぎふ証明材」をふんだんに使った「安全・安心・快適」な住まいづくりに取り組んでいます。

当グループは結成当初から、「東濃松」を筆頭に地場の木を、広範な地域に、よりお値打ちに、安定的に供給できる体制を、各方面の皆様と協力し作り上げて参りました。同時に、より安全・安心・快適な家をつくる為に、断熱・構造・関連法規等を学び続けてきました。

地域の木材活用や、木で家をつくる意義は益々高まっています。私たちは、構成員の知識や技術の向上の為、事務局が中心となって場を作り、学び続けて、消費者みな様がより良い住まいを取得で

地域型住宅の性能・アピールポイントについて

「安全・安心・快適」な住まいづくりの為に、グループ結成時より構造等級2以上、偏心率0.25以下、外皮性能は住宅の建設地の基準のワンランク上を標準として参りました。

昨今のカーボンニュートラルを目指す取り組みと、より災害に強い家づくりへのニーズの高まりを鑑み、新しいステップとして、構造等級3、断熱等級5の標準化を目指して参ります。そして、すでに当グループの多くの施工事業者がこのレベルを達成しています。

また、当グループには、施行予定の断熱等級6・7レベルの住まいづくりに精通したメンバーも多く在籍しています。

地域型住宅における地域材の活用について

本グループが推進する「東濃松が活かせる木の家」で標準使用する「ぎふ証明材」は、合法的に伐採された木が、製品となり、どのような経路をたどって消費者の皆様へ届いたかを、トレーサビリティにより可視化する仕組みです。この仕組みの下で、品質の良さで高く評価されているブランド「東濃松」や「長良杉」など、優良な製品が流通しています。

当グループでは、「ぎふ証明材」を、住宅の主要構造材の80%以上、内装材は1棟あたり50㎡以上使用することを推奨しておりますが、昨年来の木材市場の混乱を踏まえ、推奨目標を強く意識しつつ、主要構造材50%以上、内装材30㎡以上使用を当グループの下限値として運用しています。

構造・仕上げ以外の部位においても「ぎふ証明材」と近隣県産材を合わせ、国産材利用率を益々高

引き渡し後の維持管理について

住宅履歴情報サービス機関の利用を推奨しておりますが、サービス利用による経営負担増と、昨今のパソコンの操作性向上・使用者のスキル向上を鑑み、施工事業者での保管管理も可としています。

施工事業者での保管管理の場合、将来的には廃業等により維持管理の継続が出来なくなるケースが考えられます。その際は、事務局が関与して、他の継続できる施工事業者や他機関への移管を検討・実施します。

消費者相談窓口の有・無と消費者に対する対応内容

- 消費者相談窓口がある

グループ事務局で対応可能です。月～金の8時～17時までは、来店・電話・メールでの問い合わせに対応できます。

不在時にはメール等で連絡先を明示して頂ければ、後日対応も出来ます。

ご相談内容によって、グループ内各社にお繋ぎしたり、より専門性の高い関係者にお繋ぎする事も可能です。

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み> (ゼロ・エネルギー住宅型)

様式5 モデルプラン

グループ名称	東濃緑住宅供給協議会			
R3採択グループ番号	10	-	0591	- 0328

F: 交付申請におけるBELSの申請書作成及び申請は、どのような方法で行いますか？

選択項目					
<input type="checkbox"/>	グループ事務局が実施	<input checked="" type="checkbox"/>	申請事業者(施工事業者)にて実施	<input type="checkbox"/>	外注(外部事業者に依頼)
<input type="checkbox"/>	その他				

(1)-6 :モデルプランによるゼロエネ住宅性能の試算で、モデルプラン計算は、どのような方法で行いましたか？

選択項目				
<input checked="" type="checkbox"/>	グループ事務局が実施	<input type="checkbox"/>	外注(外部事業者に依頼)	
<input type="checkbox"/>	その他			

(1)-7:モデルプラン計算結果(必ずモデルプラン計算を1つ以上入力ください)

No	想定する地域区分(1~8)	外皮平均熱貫流率(UA値)	エネルギー削減率		主な省エネルギー手法					既定の評価に含まれないもの(記述)
			全体 R(%)	太陽光発電を除くR0(%)	太陽光発電	太陽光発電容量(kW)	陽熱利用給湯設備	空気集熱式太陽熱利用システム	コージェネレーション	
1	3	0.42	113	25	<input checked="" type="checkbox"/>	5.4				
2	4	0.45	112	27	<input checked="" type="checkbox"/>	5.4				
3	5	0.53	119	21	<input checked="" type="checkbox"/>	4.6				
4	6	0.56	113	24	<input checked="" type="checkbox"/>	4.6				
5										
6										
7										
8										
9										
10										

NearlyZEHのモデルプラン計算結果

設問(3)でNearlyZEHモデルプランを選択した場合は、必ず1つ以上入力してください

No	想定する地域区分(1~8)	外皮平均熱貫流率(UA値)	エネルギー削減率		主な省エネルギー手法					既定の評価に含まれないもの(記述)
			全体 R(%)	太陽光発電を除くR0(%)	太陽光発電	太陽光発電容量(kW)	陽熱利用給湯設備	空気集熱式太陽熱利用システム	コージェネレーション	
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

(2) 評価委員会による評価 (評価委員会による評価を選択の場合、ゼロエネ審査室より連絡があります)

(2)-1:導入する省エネ手法をお答えください

選択項目				
<input type="checkbox"/>	空気集熱式太陽熱利用システム	<input type="checkbox"/>	地熱利用	
<input type="checkbox"/>	その他			

(2)-2:現在の運用をお答えください

選択項目				
<input type="checkbox"/>	実際の物件に導入している	<input type="checkbox"/>	実際の物件に導入していない	